

令和7年度 丹波篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について (第1学年)

1学期に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに本校の分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

●国語

【目標値に達している項目】

- ・漢字の読み・書き
- ・説明的・文学的な文章の内容を読み取る
- ・情報を活用する

【課題のある項目】

- ・インタビューの内容を聞き取る
 - －意図に応じて適切な質問をする
- ・文法・語句に関する事項
- ・文章を書く

目標値に達している項目においては、全国平均と同程度もしくは目標値を上回っており、おおむね良好な状況です。課題のある項目では「意図に応じて適切な質問をする」「文章を書く」で無回答が3割以上に上っており、書くことに抵抗感があるように思われます。また、「文法・語句に関する項目」では、特に連用修飾語、熟語、敬語の理解、使い方に苦手があるようです。

対策としては、授業の中で短い文章を書く活動を取り入れたり、言葉調べを丁寧に行ったりしていきます。また、日常生活においては言葉遣いに意識を向けるよう声かけをしていきます。

●数学

【目標値に達している項目】

- ・小数、分数の計算
- ・整数の性質
- ・文字と式
- ・面積と体積
- ・平面図形
- ・単位量あたりの大きさ
- ・比と比例、反比例

【課題のある項目】

- ・百分率
- ・平均、場合の数
- ・データの活用
- ・いろいろなグラフの読み取り

基礎の問題では目標値を3ポイント程度上回っています。しかし活用の問題は2.5ポイント下回っています。全体では目標値より、1.5ポイント上回っています。問題の内容別に見ると、「整数の性質」「文字と式」「面積と体積」といった項目は、目標値を大きく上回っており、満足できると言えます。一方、「百分率」「平均、場合の数」「データの活用」「いろいろなグラフの読み取り」において課題が見られます。

知識を日常生活に活用していけるように、考えを説明する活動を取り入れることによって力の定着を図っていきます。また、課題が見られる内容は、これから中学校でも学習する内容であるため、小学校で学習した範囲の復習を大切にしながら授業展開していきます。

●生活習慣・学習習慣について

全体的におおむね良好な結果です。注目すべきは、家庭の支えや学級の規範意識の高さです。

「つらいときに家族に相談できる」と回答した生徒は全国平均を上回り、家庭での安心感が十分に確保されていることが分かります。また、学級では掃除や係活動等、責任をもって行う、先生の話をしっかり聞くといった基本的な規範意識が高く、安心して生活できる集団づくりがなされていると考えます。さらに、「いじめの誘いを受けたことがある」と答えた生徒はいませんでした。これは集団として大きな強みであると考えます。

一方で、「クラスの中で自分が注目されることがある」と感じている生徒は全国平均より少なく、個々の存在感や承認の機会に課題があることが分かります。また、発言や質問に対してやや消極的な傾向が見られます。生活面では、持ち物の準備や家庭学習の習慣が十分に定着していない傾向も見受けられます。

これらの結果をふまえ、2学期以降は以下の点を大切にしていきます。

- ・生徒一人ひとりが発言や質問を通して、主体的に学習に関われるようにすること

- ・クラスや学校生活の中で小さな役割や活躍の場を設け、互いを認め合える雰囲気をさらに高めること
 - ・基本的な生活習慣・学習習慣を確実に身につけ、計画的に行動できるよう指導すること
 - ・教師との関わりの中で、安心して相談できる関係づくりを進めること
- 家庭と学校がともに生徒を支えながら、一人ひとりが安心して学び、成長できる環境を整えていきます。